



東京アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

2018 年度 自己評価報告書

(基準日 2019年3月31日)

はじめに

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に則り、学校評価（自己評価・学校関係者評価）実施に向けた体制作りを行ってまいりました。そして現在、文部科学省策定の『専修学校における学校評価ガイドライン』をもとに、学内における PDCA サイクルの確立を目指し自己評価を行っています。より充実した、教育環境と在校生・卒業生のサポート体制確立に向けさらなる努力をしていく所存でございます。

本校関係各位の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2019 年 4 月

学校法人創都学園

東京アニメーションカレッジ専門学校

学校長 田中 道信

< 自己評価委員会 >

委員長 田中 道信（学校長）
三岳 博隆（学校法人創都学園 総務部長）
塚本 直重（就職・デビューセンター室長、総合学科）
稲見 千春（教務主任、アニメーション学科）
益子 瑞江（マンガ・イラスト学科）
原崎 真由子（声優学科）

< 自己評価実施概要 >

- ・学生授業アンケート（2018 年 9 月、2019 年 2 月）
- ・学生アンケート集計をもとに、自己評価委員会において討議。
2018 年度カリキュラムの修正等、2019 年度カリキュラムへの反映について確認
(2019 年 3 月)
- ・本校実施自己評価アンケートを自己評価委員各位において記入（2019 年 3 月）
- ・自己評価委員会において各自評価表について討議（2019 年 3 月）
- ・自己評価委員会において、2018 年度自己評価について取りまとめを行い、
内容確認及び承認。（2019 年 3 月）

東京アニメーションカレッジ専門学校 専門課程 2018 年度自己評価表

1. 学校の教育目標

(教育理念)

「個性」を磨き、「才能・能力」を高め、「技術」を身に付ける。

仕事として、アニメーション・マンガ・声優などのエンタテインメントに関わる上で大切な要素を持った人材を育成・輩出する。そして、エンタテインメント業界の発展に寄与する。

◇学生にとって将来につながる有意義な学校であること

◇業界にとって信頼できる人材育成機関であること

(教育目標)

仕事として、アニメーション・マンガ・声優などのエンタテインメントに関わる上で大切な要素を持ったクリエイティブな人材へと成長できるように、専門教育においては、基礎力・応用力・実践力を身に付けるカリキュラムを構築し、専門知識や技術を習得します。また、人間力の育成・向上に重要なこの時期、社会生活において必要となる常識・社会性はもちろん、豊かなコミュニケーション力・自己表現力といった社会適応能力を、専門教育を通じて身に付けていきます。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

■ 学生状況の把握

定期的な学生面談だけでなく、保護者との連携や授業担当講師との情報共有で状況把握の精度を高める。

■ 進級率の向上

出席率確認と状況把握を教職員で共有し、退学防止に向け早期の対策を講じる。

■ 出席率の向上

個々の状況に合わせた指導を行い、保護者と連携しながら出席不良者への対応を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

■ 学生状況の把握

概ね問題なく出来ている。担任と講師の連携により欠席状況や学習状況の把握を行なった。毎週の教務会で報告が行われ職員間の情報共有と早期の対応に努めている。

■ 進級率の向上

目標には未達となったものの、わずかであるが前年度に比べて良化している。今後も個別の状況把握を含め対応を継続していきたい。

■ 出席率の向上

1年生は改善傾向だが、全体としては目標に未達となり2年生は、昨年度の実績を下回る推移であった。しかし進級・卒業の状況を含めてレベルの維持は出来ている。

学生が目標・目的に対する意識をしっかりと持てるように指導を続けていきたい。

(2018 年度年間平均出席率	1年:94.5%	2年:86.9%	3年:87.4%
2017 年度年間平均出席率	1年:91%	2年:89.9%	3年:88.2%

4. 各項目による点検評価状況

※別紙参照



2018年度自己評価表



学校法人 創都学園

東京アニメーションカレッジ専門学校

東京アニメーションカレッジ専門学校

2018年度自己評価表(別紙資料)

4.各項目による点検評価状況
(点検の評価について)

[4] 適切 [3] ほぼ適切 [2] やや不適切 [1] 不適切

大項目	点検項目	点検評価	
教育理念・目的・人材育成像	1-1	・理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
	1-2	・学校における職業教育の特色は何か	4
	1-3	・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
	1-4	・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4
	1-5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
	具体的な状況等 1 将来日本のアニメーション業界を支えるべく、優秀な人材育成をおこなう為のカリキュラムの作成を行っている。 2 学生、講師、企業の協業による、より実践的な教育を行い経験することで実社会での行動に役立たせる。 3 技術の変化が激しい業界において、常に先端の技術が教えられるように機材の更新及び教育技術の習得を行っている。 4 保護者懇談会、三者面談等保護者との直接の会話と学生作品の展示、上映を通じて企業業界関係者へのプレゼンテーションを行っている。 5 年に数回業界の方による特別授業を行い、現状とこれからアニメーション業界のあるべき方向性などを講義して頂いている。		

大項目	点検項目	点検評価	
学校運営	2-6	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
	2-7	・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
	2-8	・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
	2-9	・人事、給与に関する制度は整備されているか	3
	2-10	・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	3
	2-11	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
	2-12	・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
	2-13	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
	具体的な状況等 6 目的や運営方針については毎年2回、前期後期の始まりに全体講師会を通じて今期の方針を打出している。 7 年間の事業計画に沿って運営されている。 8 校長以下明確化された組織で教務会議等で適正に意思決定がなされている。 9 人事・給与に関する制度は就業規則に則り、適正に実行されている。 10 組織図に明確化されている。 11 就業規則等により明文化されている。 12 ホームページ上に常にアップ更新を行っている。 13 極力ペーパーレスを目標にしているが紙での情報もまだある。		

(点検の評価について)

[4] 適切 [3] ほぼ適切 [2] やや不適切 [1] 不適切

大項目	点検項目	点検評価
教育活動	(目標の設定等)	
	3-14 ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
	3-15 ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
	(教育方法・評価等)	
	3-16 ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
	3-17 ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
	3-18 ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
	3-19 ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
	3-20 ・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
	3-21 ・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
	3-22 ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3
	(資格試験)	
	3-23 ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(技術系専攻に限る)	
	(教職員)	
	3-24 ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
	3-25 ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
	3-26 ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
	3-27 ・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
	<p>具体的な状況等</p> <p>14・15 2年間の授業時間数は文部科学省規定の年間800時間を越える896時間以上の授業を実施すると共に、放課後の教室・実習室の開放も行い限られた時間で成長出来る環境を作り、学生が業界人として活躍できるシステムが構築できている。</p> <p>16 アニメーション制作全体を網羅する形でカリキュラムは作られており、基礎画力など段階的に成長して行けるよう課題設定されている。</p> <p>17 実際にアニメスタジオで新人研修など行っていた現役でプロとして活躍中の講師が現場同様の技術指導を行いながら時代に即した内容になる様更新している。</p> <p>18 日本動画協会主催のアニメ人材パートナーズフォーラム(AJPF)に参画し、業界との連携を図りながら改善に取り組んでいる。</p> <p>19 企業が実施するインターンシップ・研修制度など積極的に利用しながら就業に向けて取り組んでいる。</p> <p>20 各課題ごとに評価をし、指導しながら学生にフィードバックするシステムとなっている。</p> <p>21 模擬面接など外部企業の採用担当に來校していただき、面接評価し学生にフィードバックしている。</p> <p>22 『学生生活のてびき』に評価について明記し、日常の課題ひとつひとつに評価を付けたものと、出席状況、授業態度などを勘案し総合的に評価している。</p> <p>23 アニメーションの能力を図る適切な資格試験は存在しない為、資格取得については特に実施していない。</p> <p>24 アニメーション業界経験及び学校での教育経験共に豊富な人材を確保している。</p> <p>25 現役で業界内で業務を続けている人材を講師として起用している為、時代の変化に即した内容にも対応できている。</p> <p>26 新しい技術などセミナーに参加して最新の情報収集に努めると共に、教員の質、授業内容の質的向上に取り組んでいる。</p> <p>27 毎週教務会議を開き学生対応など協議しながら教職員の指導力・資質向上に取り組んでいる。</p>	

(点検の評価について)

[4] 適切 [3] ほぼ適切 [2] やや不適切 [1] 不適切

大項目	点検項目	点検評価
学修成果	4-28 ・就職率の向上が図られているか	3
	4-29 ・資格取得率の向上が図られているか	3
	4-30 ・退学率の低減が図られているか	3
	4-31 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
	4-32 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
	具体的な状況等 28 就職指導は年々充実度を増してきたが、主体性を持ち能動的に行動する学生が減少していることもあり就職率は平均的な状態。 30 メンタル面で問題を抱えた状態で入学してくる学生が増えており、退学率の改善が難しい状態が続いている。 31 卒業生・在校生の活躍状況を把握し、学校全体で応援できるよう努めている。 32 卒業生ゲストを招いて在校生へ向けて特別授業を実施することで在校生の将来の指針とするとともにカリキュラム改善のヒアリングなども行っている。	

大項目	点検項目	点検評価
学生支援	5-33 ・進路・就職・デビューに関する支援体制は整備されているか	4
	5-34 ・学生相談に関する体制は整備されているか	4
	5-35 ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
	5-36 ・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
	5-37 ・保護者と適切に連携しているか	4
	5-38 ・卒業生への支援体制はあるか	3
	5-39 ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
	5-40 ・関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	3
	具体的な状況等 33 就職・デビューセンターに選任職員2名を配置し、担任と協力体制を取って就職支援を行っている。 34 担任制で学生からの相談に日常的に対応できる体制を取っている。 35 学校独自の奨学金制度を入学時と進級時に実施。また学費納入は個別に分納に応じるなど対応している。 36 部活動などへの参加や、アニソンカラオケ大会など授業外のイベントへの参加のサポートも実施している。 37 保護者懇談会・三者面談を実施し連携を図ると共に、学生に変化が見られた際は担任が保護者に連絡を取るようになっている。 38 GSS(グラデュエート・サポート・システム)を設けており、在学中同様のサポートが受けられるようになっている。 39 高校内で実施される職業ガイダンスなどに参加し、アニメーション業界への理解を深めてもらう取り組みを実施している。 40 日本動画協会など様々なセミナーなどを紹介し参加を促したり、GSSIにより様々なサポート・指導を卒業後も行っている。	

(点検の評価について)

[4] 適切 [3] ほぼ適切 [2] やや不適切 [1] 不適切

大項目	点検項目	点検評価	
教育環境	6-41	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
	6-42	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
	6-43	・防災に対する体制は整備されているか	3
	具体的な状況等 41・42 実習室の機材は減価償却を基準に交換し機器の更新に勤めている。またソフトに関しても業界で現在使用されているものを使用し、インターンで学生が戸惑うことなく実力が発揮できる環境を作っている。 43 防災は非常用食品をはじめ、発電機、飲料水、防寒シート、マスク、コンロ、紙皿、他多品目を準備すると共に避難訓練も毎年実施している。		

大項目	点検項目	点検評価	
学生の受入れ募集	7-44	・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
	7-45	・学生募集活動は、適正に行われているか	4
	7-46	・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
	7-47	・学生納付金は妥当なものとなっているか	4
	具体的な状況等 44 学校案内の送付、職業ガイダンスなどへの参加、高校訪問などを通じ情報提供を行っている。 45 募集時期や定員数など規定に即した設定で募集活動は適正に行われている。 46 就職状況などを取りまとめたプリントを作成し来校者に配布している。 47 学校運営に対し適正な金額設定となっており、他校と比較しても平均的な金額となっている。		

大項目	点検項目	点検評価	
財務	8-48	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
	8-49	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
	8-50	・財務について会計監査が適正に行われているか	4
	8-51	・財務情報公開の体制整備はできているか	4
	具体的な状況等 財務状況については財務諸表に記載のとおりです。会計は学校会計基準に則り、表記計上され会計士による監査が適正に行われています。 予算・収支計画は予算理事会・評議員会にて最終決定され、実行されています。		

(点検の評価について)

[4] 適切 [3] ほぼ適切 [2] やや不適切 [1] 不適切

大項目	点検項目	点検評価
法令等の遵守	9-52 ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	9-53 ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
	9-54 ・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
	9-55 ・自己評価結果を公開しているか	3
	具体的な状況等 52 法令、設置基準などに即した形で適正な運営を行っている。 53 個人情報を取り扱う業者に対しては契約の際に確認を取っているほか、講師へも漏洩しないことの誓約書を提出いただいている。 54 学生アンケートの実施により改善点の模索に努めている。 55 現状外部への公開を行っていない為、学校HPなどでの公開を行っていく。	

大項目	点検項目	点検評価
社会貢献・地域貢献	10-56 ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
	10-57 ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
	10-58 ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
	具体的な状況等 56~58 戸塚地区協議会での高田馬場駅早稲田口クリーンキャンペーン清掃活動への毎月の参加行事等で学校を開放し地域の方々にも日頃の作品等を見て頂くようにしている。	

大項目	点検項目	点検評価
国際交流(必要に応じて)	11-64 ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
	11-65 ・受け入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
	11-66 ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
	11-67 ・校内での適切な体制が整備されているか	3
	具体的な状況等 64 日本語学校との交流をはじめ、海外からの見学希望者に対応したりと交流を図っている。 65 入国管理局の指導に即し、各種手続きを適正に行っている。 66 学生作品をHP上に掲載する事で海外の方々からも高く評価いただいている。 67 留学生専門の担当者を配置し、受け入れから卒業後のサポートまで支援を行っている。	